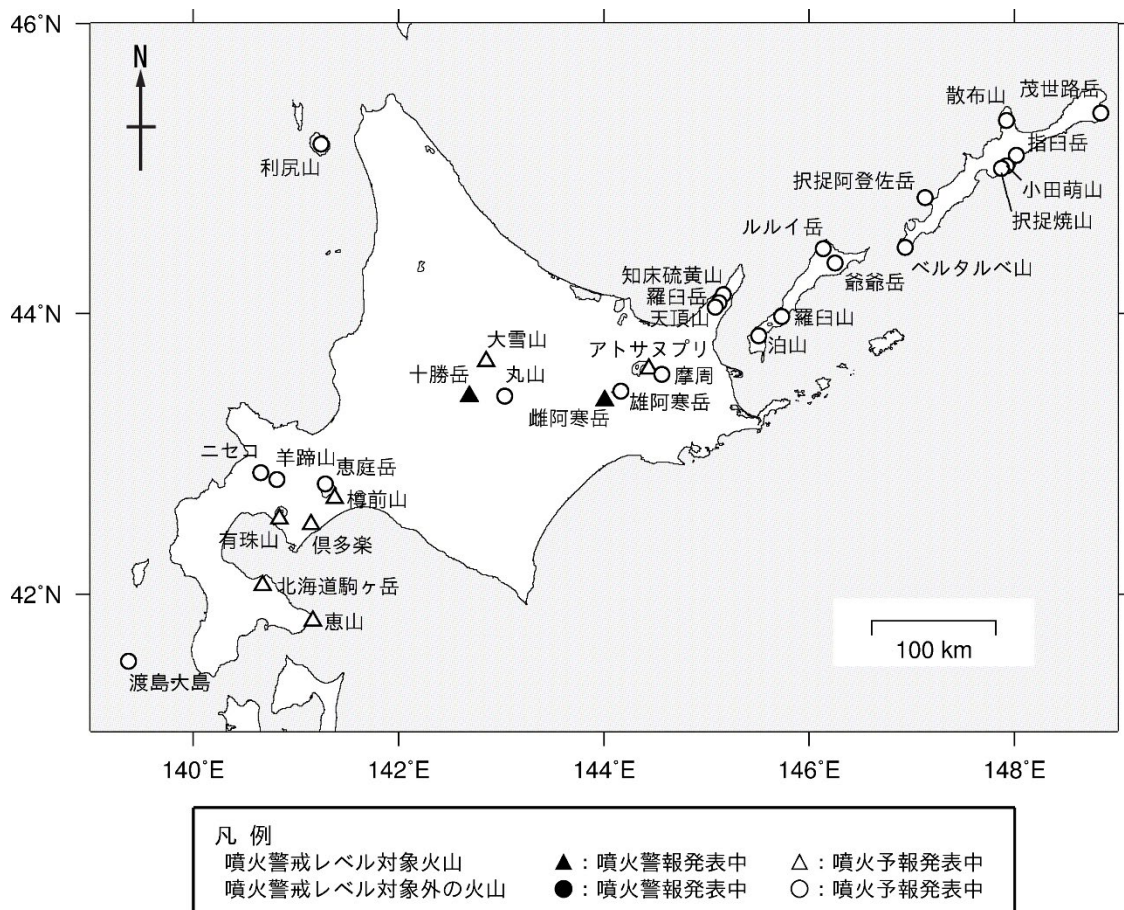


管内月間火山概況（令和8年8月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	雌阿寒岳、十勝岳
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、大雪山、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/report/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/kazan/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所及び機動的な調査観測・解析グループ（北海道大学、東京大学、防災科学技術研究所）のデータも利用して作成しています。

次回の管内月間火山概況（令和8年9月分）は令和8年10月8日に発表する予定です。

各火山の活動状況及び予報警報事項

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

3月16日以降、噴火は観測されていません。

ポンマチネシリ火口付近では、5月中旬に火山性地震が一時的に増加しましたが、6月以降は概ね低調に推移しています。また、5月以降、2025年9月12日の火山性微動の発生以降続いた同火口方向上がりの傾斜変動が火口方向下がりに転じ、噴煙の量が増加して活発な状態が続いていたポンマチネシリ96-1火口の噴煙はやや量が減少しています。ただし、依然として2025年9月12日以前と比べて同火口付近浅部はやや膨張した状態と考えられ、噴煙活動も活発な状態が続いています。

火山活動の活発な状態が続いており、ポンマチネシリ火口から約500mの範囲に影響を及ぼす噴火が発生する可能性があります。

ポンマチネシリ火口から約500mの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）〕

振子沢噴気孔群を含む62-2火口付近では、5日及び6日にごく小規模な噴火が発生しました。

62-2火口付近では、ここ数年にわたり噴煙・噴気が多く、高感度の監視カメラで発光現象が時々観測されるなど、活発な熱活動が続いています。

3月以降、山体付近のやや深部の膨張を示す地殻変動が継続し、4月以降は火山ガス（二酸化硫黄）放出量の増加や62-2火口付近及びその周辺の地震活動のやや活発化が認められ、62-2火口付近の熱活動もより高まって推移しています。

このように火山活動が高まった状態が続いており、62-2火口及び隣接する振子沢噴気孔群付近では、その周辺に影響を及ぼす噴火が今後も発生する可能性があります。

62-2火口から概ね1.5kmの範囲では、噴火に伴い弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体などの指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

利尻山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

なお、山頂溶岩ドーム周辺では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）〕

5日から6日朝にかけて山頂火口原付近を震源とする地震が一時的に増加しました。山頂火口原付近で

は、ここ数年にわたり、GNSS 繰り返し観測で浅部のごくわずかな膨張を示すと考えられる変化がみられ、一時的な地震増加が時折認められていますが、各火口の噴気活動などの熱活動は低調に推移しています。火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

渡島大島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。